

# 広報 **ふじ**

NO. 115

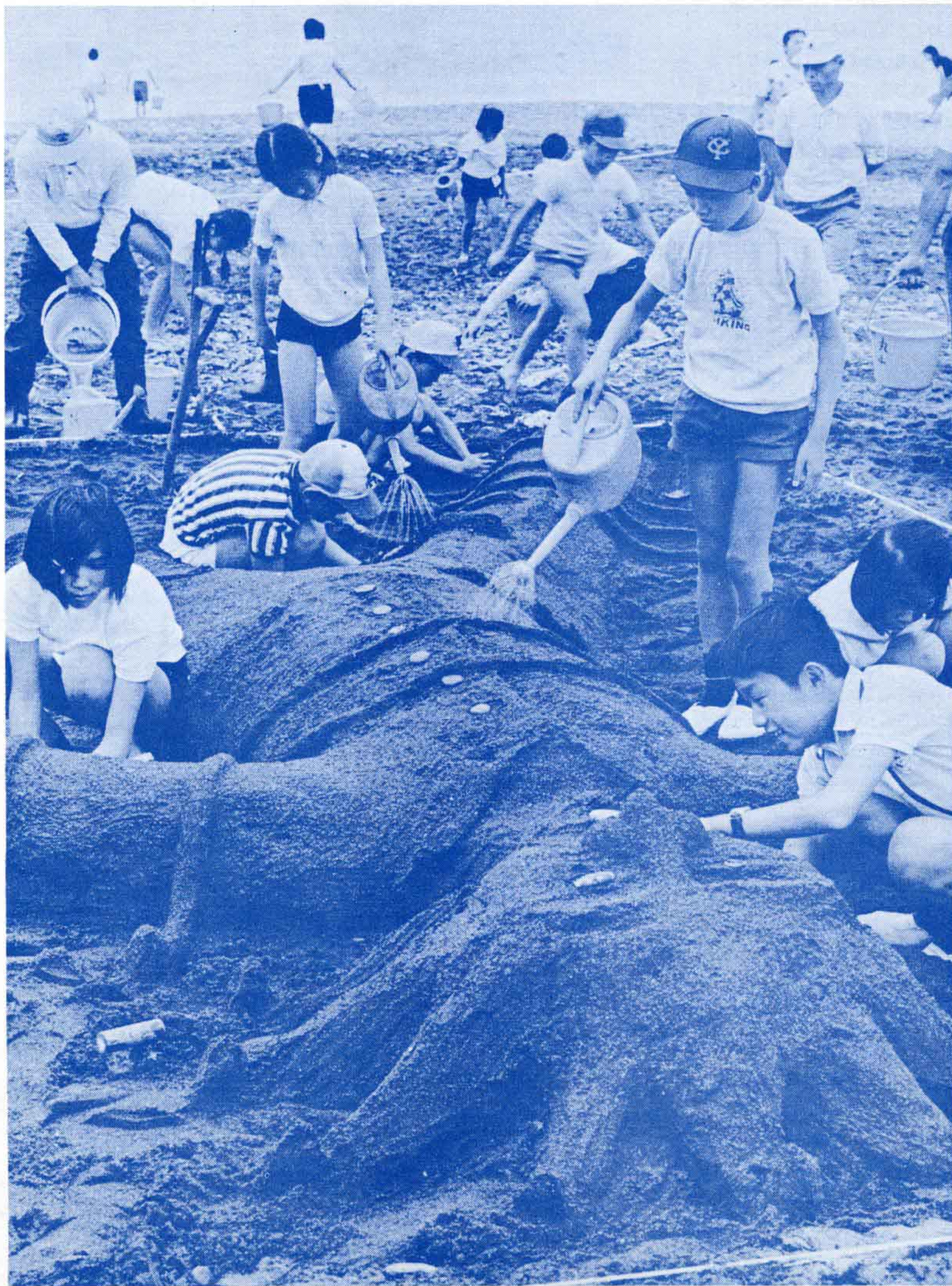
47.7.5 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

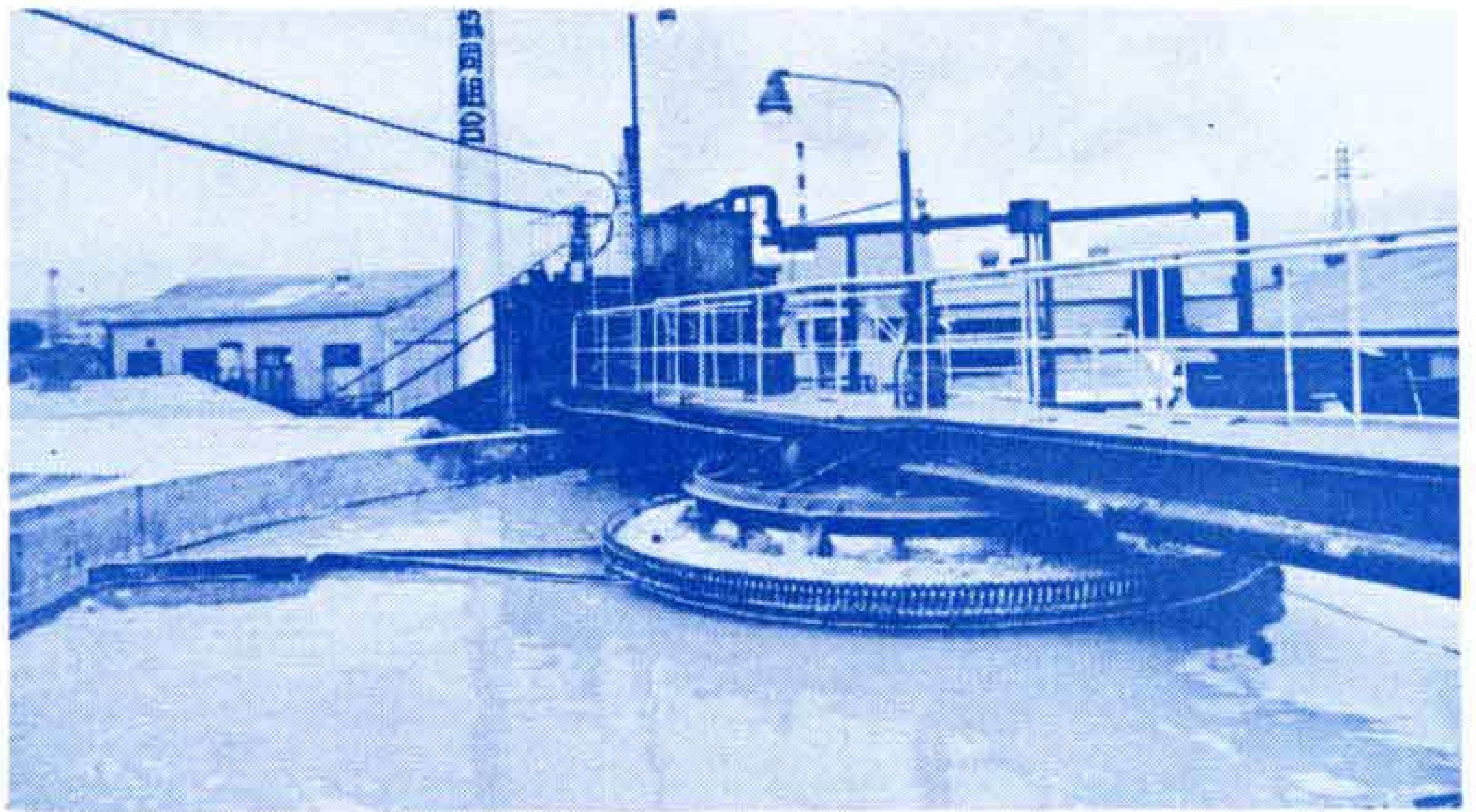
編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



鈴川海岸で砂の造形大会

- …田子の浦港水域の水を昔の清流
- …に一。水質汚濁防止法が6月24
- …日から全面施行され、立入り調
- …査など工場排水の厳しい監視を
- …行なっています。施設改善など
- 各企業の努力によって「きれい…
- な水、はだいぶ回復してきました…
- たが、昔の清流にはまだまだ。…
- 県は8月にはさらに厳しい上乘…
- せを行なう計画です。……………



## 水質保全に厳しい監視

### 水質汚濁防止法が 全面施行

昭和45年10月1日に水質保全法、工場排水等規制法で、田子の浦港と田子の浦港に流れ込んでいる沼川や潤井川などの河川が水域指定を受けました。この結果田子の浦港水域に汚水を流している工場事業場に水質基準が適用され、SS（浮遊物質）の排出量が規制を受けました。さらに昭和46年5月26日に指定水域、規制項目が改正され、指定水域は富士川左

岸から沼津市の昭和第2放水路右岸までとなり、規制項目もSSに加えPH（水素イオン濃度）、BOD（生物化学的酸素要求量）、COD（化学的酸素要求量）大腸菌群数の4項目になりました。

しかし、汚濁物の複合、被害範囲の拡大などのため、水質保全法、工場排水等規制法では十分な防止ができなくなりました。そこで、規制措置をいつそう強化するため新たに「水質汚濁防止法」が制定され、昭和46年6月26日公布されました。

水質汚濁防止法の制定によつて

- 急速に進んでいる水質汚濁に対処するため、指定水域主義に変わり、全公共用水域対象主義となつた。
  - 規制方法を強化し、排出基準違反を直ちに処罰することになつた。
  - 水質の監視測定体制を整備した。
  - 排水規制に関する権限を原則として都道府県に委任した。
  - 規制対象の範囲が拡大し、濁水など環境条件による緊急時の措置がもうけられた
- また全国一律の排水基準が示され、人の健康に係る項目はカドミウムなど8項目、生活環境の保全に係る項目はPH、SS、CODなど14項目について規

制が行なわれることになりました。しかし、当地域は旧法による指定地域であり新法旧法の基準値をいずれも守らなければなりません。

この水質汚濁防止法が公布されたとき紙、パルプ製造業の関係は1年間の猶予が与えられていましたが、昭和47年6月24日から全面施行になりました。そこで水質汚濁防止法の排水基準が守られているかどうか、6月24日午前零時から市内の製紙工場で立入り検査が行なわれました

24日の立入り検査は、県公害課、県公害防止センター、市公害課、岳南排水路管理組合から20名が出て、4班に分れ、20の大中小製紙工場で、汚水の採取、汚水処理施設や操業の状況を調査しました

### 違反工場は操業停止 などの処分を

採取した汚水は、県公害防止センターで分析していますが、7月初めには結果がわかります。もし基準が守られていなければ、改善命令を出し改善させますがなおかつ改善しなければ操業停止などの処分を行なつていきます。

市内の対象工場は、紙・パルプ関係が130工場、化学・メッキなどが51工場、合計181工場ですが、このうち20工場を24日、60工場を26日から3日間の間に検査を行ないました。しかし、今回の検査でもれた工場や有害物質を排出している工場の立入検査は、今後もどしどし進め排出基準の徹底をはかります。

なお、8月1日から県条例による法律の上乗せが施行される予定です。この上乗せ基準については次号へ掲載します。



# 道路工事を計画的に

## 道路工事調整会議を結成

せつかく舗装した道路をすぐ掘りかえし、何か工事をはじめた。2カ月ばかり前に工事をして、ようやく終わったと思つたら、また工事をはじめた。

これまでしばしばこんな風景が見られました。そこで、不合理な工事をなくし計画的に工事が進められるように、このほど「道路工事調整会議」がつくられました。

この会議は、市建設部管理課が窓口となつて、企画課、土地改良課、都市計画課、区画整理課、道路課、下水道課、業務課、工務課、消防署、交通課など市の関係各課と富士警察署、富士土木事務所、駿河工業用水道事務所、電々公社、ガス会社、東電などの機関が集まつて組織されています。

この第1回会議が6月27日市役所で行なわれました。会議では7月から9月までに

各機関で計画している工事などを出しあつて、話し合いを行ないました。そこで各機関から出された工事計画などを検討し、同一路線で工事を予定しているものがあれば、同時に済ませて付近の人たちには迷惑がかからないようにします。また市道の場合、本舗装を行なつてしまうと、1年間掘りおこすことができまないので、本舗装を行なう場所で工事が予定されていれば事前に実施するよう指導をして

いきます。

しかし、このような会議が組織づくられ、工事が一度で済むようになっても工期がおくれては、これまでと何ら変わりませんので、工事請負業者には、今後工事期間は必ず守るように注意していきます。また、工事現場には、夜間の赤色灯や迂回路表示、工事名、期間の表示をはつきりさせるなど、安全管理も十分徹底します。



# 2000 m<sup>2</sup>以上の土地が対象に

## 土地利用対策委員会の審議

市内に設置される諸施設を、市の長期的土地利用計画に基づいて配置し、現在ある施設との調整をはかり「調和のとれた都市開発」を進めるため土地利用対策委員会が昭和45年6月設置されました。以来毎月委員会を開催し、これまでに119件の土地利用計画の審議を行なつてきました。

しかし、最近の都市開発は目ざましく、これまでのように3000平方メートル以上を審議の対象にしていたのでは、調和のとれた都市開発はむずかしくなつてしまいます。そこで、7月1日から審議の対象を2000平方メートル以上にして、ますます多くなる土地利用計画を検討していくことになりました。

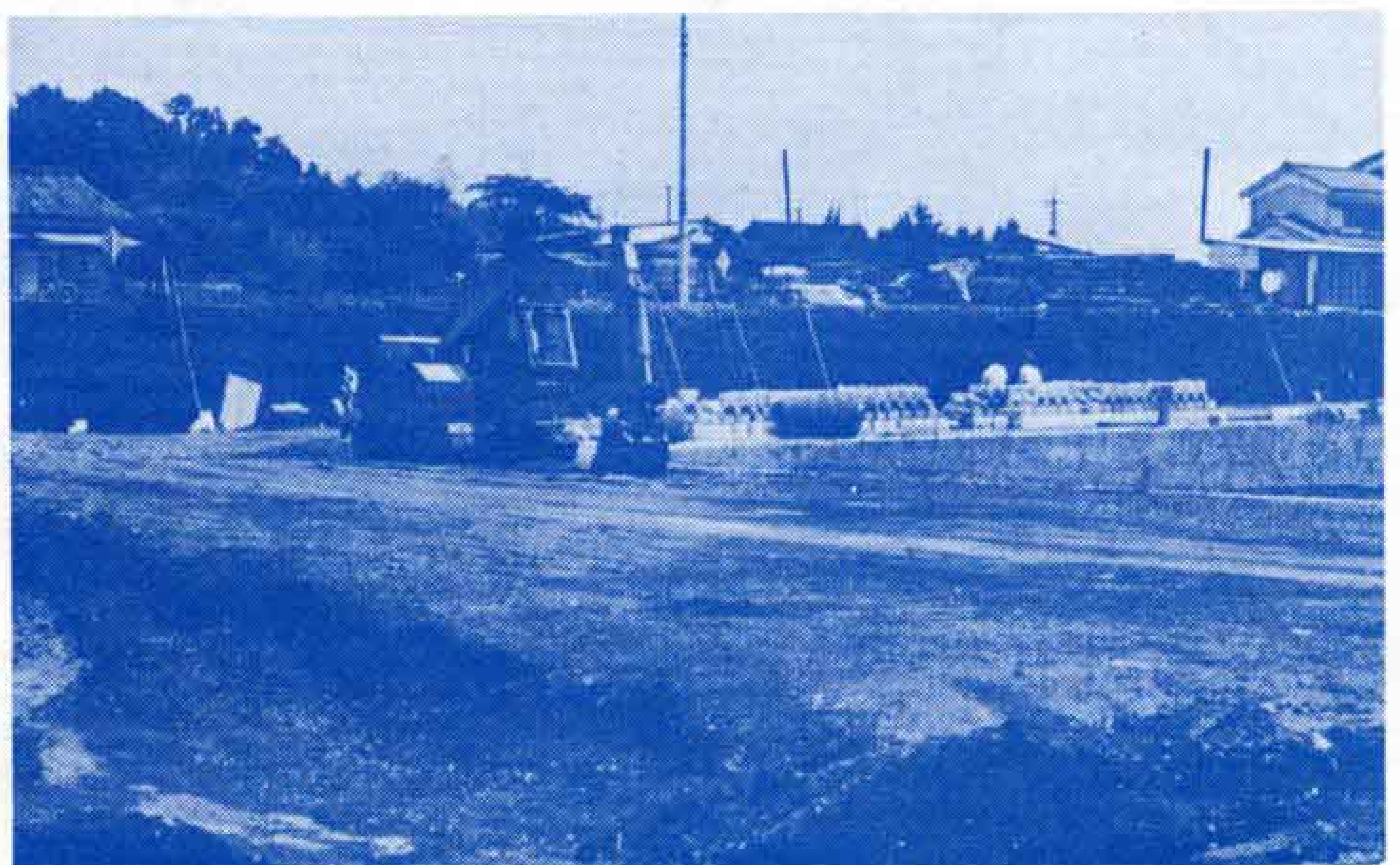
ただし、その事業が自然環境の保全または地域住民福祉に著しい影響を及ぼすと認められるものは、今までどおり用地面積を問わず、審議委員会の対象となります。

また、土地利用面積が2万平方メートル以上（採土については、1万平方メートル以上）のものは、市の委員会を経て、県の土地利用対策委員会の承認が必要です。この場合、用地買収を伴うものは、買収前に県の委員会の了承を得なければなりません。

土地利用対策委員会の庶務は、市企画調整部企画課で担当していますが

委員会で審議するものは、次のとおりです。

- 住宅用地を造成するとき。
  - 工場、事務所、店舗などの用地を造成するとき。
  - 公共用地を造成するとき。
  - 観光施設やレクリエーション施設などの用地を造成するとき。
  - 廃棄物処理用地を造成するとき。
  - 地域住民の福祉または自然環境の保全に著しく影響を及ぼすものと認められる資源の採取（山砂利採取など）または施設の設置に関すること
- なお、新都市計画法に基づく市街化区域が設定されると、1000平方メートル以上の開発行為の場合、すべて開発許可を受けることとなります。調整区域にあつては、都市化を助長するような開発行為は原則的に抑制されることとなります。



夏は、睡眠不足や暑さのための疲労などから例年交通事故が多くなっています。そこで、7月1日から8月31日までの2ヵ月間「夏の交通事故死をなくす運動」を行なっています。運動の初日に当たった7月1日には、渡辺市長をはじめ市議会議員、婦人会などが街頭へ出て交通安全の呼びかけを行ないました。



# 暴走、酒飲み運転をなくそう

夏の交通事故死をなくす運動はじまる

## 子どもと老人の保護 を重点に

この運動は、「歩行者とくに子どもと老人の死亡事故の防止」「無謀運転の防止、とくに暴走・飲酒運転の絶滅」を目標に行なっています。しかし、市民みなさんの協力がなければ、なかなか目的の達成はできません。運動を理解して、運転者も歩行者も交通規則をよく守り、交通事故をなくすようにつとめましょう。

### ■歩行者の安全確保

学校や幼稚園などでは、夏休みに入る前に交通教室を開いて、正しい歩行、自転車や二輪車の正しい乗り方の徹底をはかります。家庭でも「交通安全教育の手

びき」を活用し、日常生活指導を通じて交通安全のしつけをしてください。

また、お年寄りのいる家庭へは、安全な歩行、正しい横断、自転車の安全な乗り方などについて書いた手紙を送りましたので、よく読んで交通事故にあわないようにしてください。なお、お年寄りが夜間外出するときには、できるだけ付き添いをつけるようにいたしましょう。

### ■無謀運転の防止

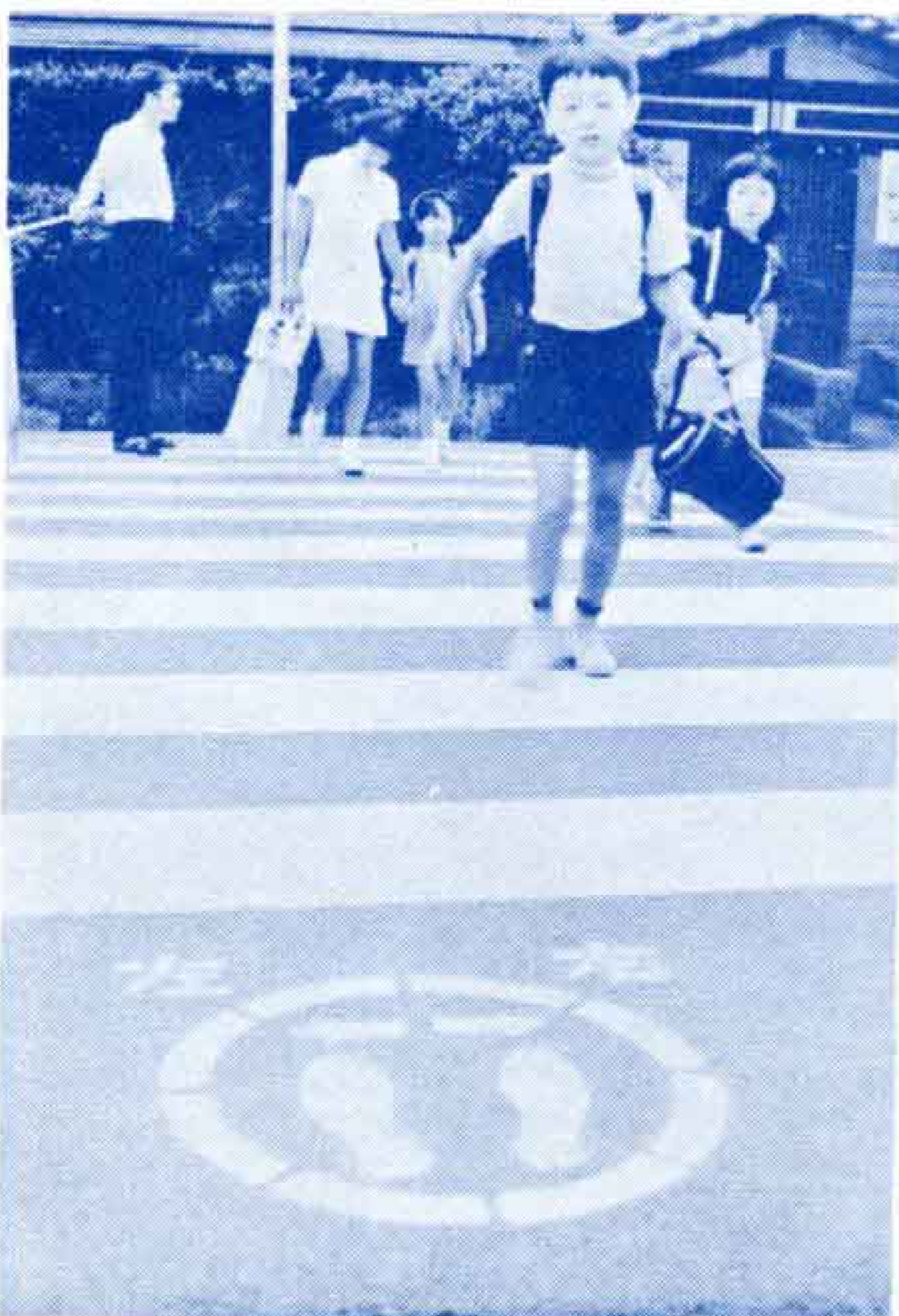
自動車を使用する会社、事業所などは無謀運転や過労運転をしないように、管理の強化を徹底してください。

また、レジャーなどで、長距離ドライブなどに出かけるときは、深夜の運転はさけるなど余裕のあるスケジュールをたて、安全運転をいたしましょう。

次に、交通三悪のひとつ、飲酒運転はまだまだなくなりません。酒を飲んだら絶対に運転しない、車を運転する人には絶対に酒を飲ませない、を徹底しよう。

このほか、運動期間中次のような行事を行ないます。

- 毎月14日を「歩行者と自転車利用者の安全確保の日」として、警察署、民間交通指導員の協力で行なう街頭指導や交通安全パトロールなどを行ない、子どもと老人の安全確保をおこないます。
- 7月20日と8月21日を「交通環境点検の日」とし、安全施設、道路不正使用の取締りなどを行ない、交通安全環境の整備を図ります。



【横断するときはストップマークの上  
立って左右の確認を】

## ストップマーク作戦展開中

こどもの交通事故は6月までに131件で、死者3人、負傷者130人をだしています。子どもの交通事故で、一番多いのが道路へのとび出しです。小さな子どもでさえ道路への急な

び出しは、危険なことを十分知っています。ところが遊びに夢中になつてしまうと、そういうことも忘れがちです。そこで、子どものとび出し事故の防止を図るため、信号機のない

交差点や横断歩道の手前、遊び場の出入口にストップマークを標示しました。

ストップマークは、直径60cmの円の中に両足の足形と左右の確認をする矢印がついています。

家庭でも道路を横断するとき、ストップマークの上立つて立ち止まって左右の安全を確認するように指導してください。



【信号機のない横断歩道  
などにストップマークを】

# もうすぐ夏休み

## 暑さにまけない体力を

子どもさんがいる家庭では、夏休みのことが話しのなかにもう出ていることでしょう。今年は7月27日から小中学校は夏休みになります。40日もの長い休みに入るわけですが、ルーズになりがちな休暇を何とかよい方向にもつていつてやりたいものです。

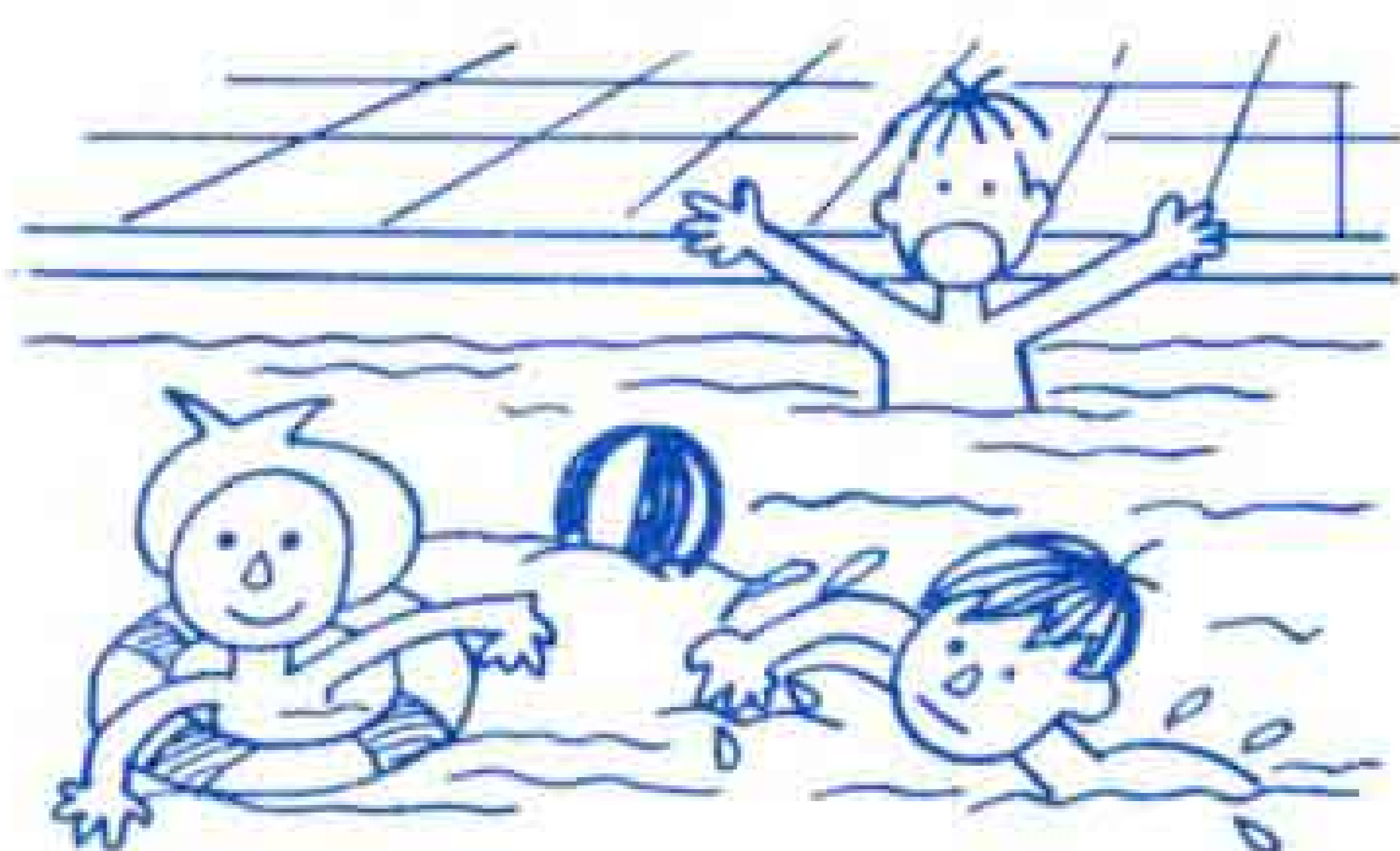
学校からの注意はもちろんありますが夏休み中のくらしかたについて、いちど親しいお母さん同志で話し合われることをおすすめします。

親が勝手に規律をつくって、押しつけるのでは、かえってよくありません。まず子どもさんに、1日の時間割りをつくらせてみることです。とかく子どもたちは、休み前に自分で守れそうもない時間割をこしらえて親に見せるようです。このような時によく注意をしてやる方が、かえって効果があります。しかし、勉強も大切ですが、起床、就寝、食事など健康にも十分注意するようにしましょう。

それでは、子どもたちが夏休みを元気に過ごすために必要なことを2、3あげてみましたので、夏休みに入る前ぜひ子どもさんに見せてください。

### ■からだをきたえよう

- 子ども会のラジオ体操そりに進んで参加しましょう。

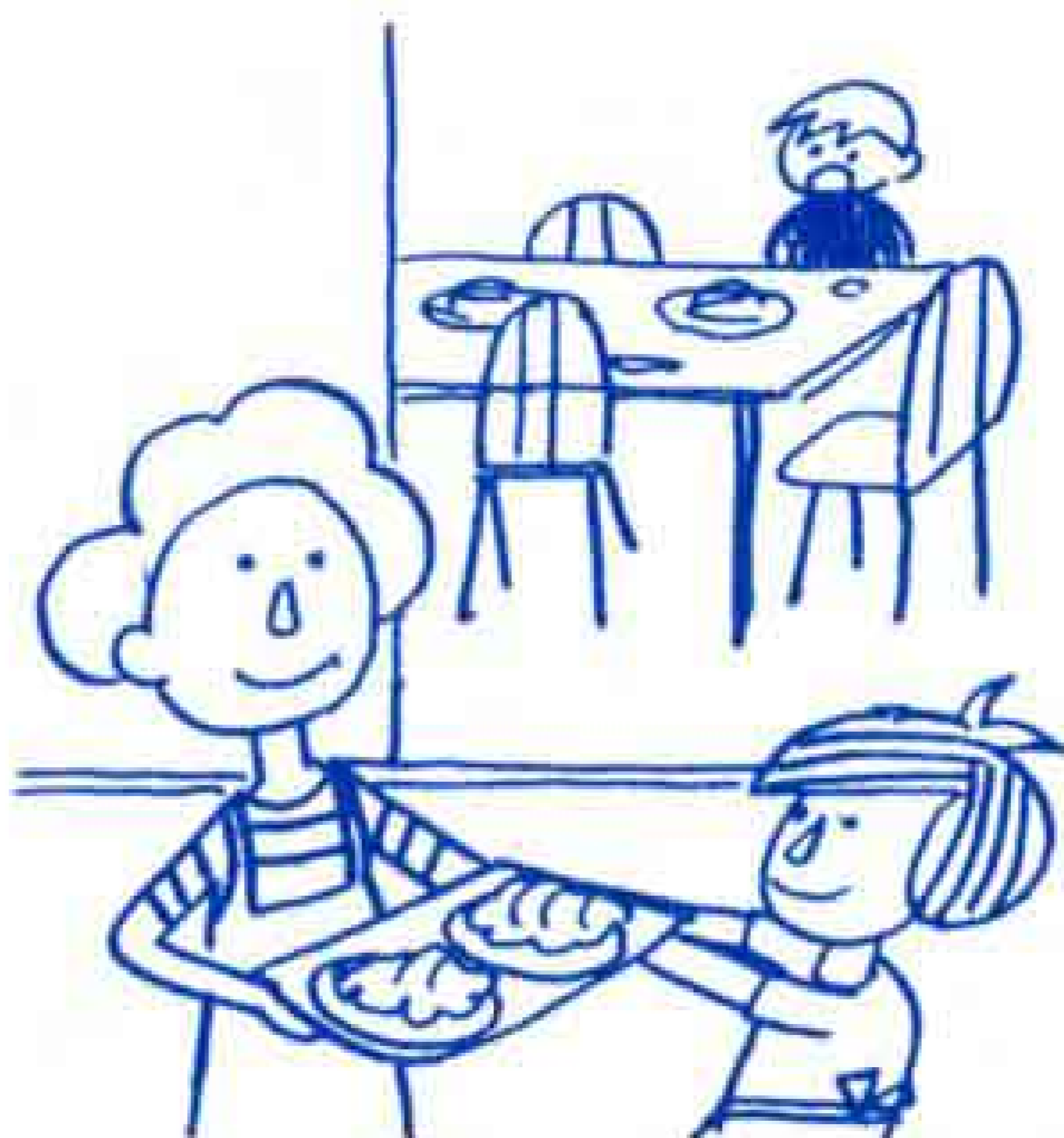


- なにかひとつ体力づくりを考えて、毎日つづけましょう。
- 水泳練習でじょうぶなからだづくりをしましょう。

- 歯・耳・目・鼻・などの悪い人は、休み中になおしましょう。
- 昼間外へでる時は、かならずぼうしをかぶりましょう。
- 食べもののすききらいをなおして、栄養をとりましょう。

### ■きまり正しい生活をしよう

- 早ね、早おき、きまりよい習慣をつけよう。
- どんな小さなことでも、自分のことは自分でしましょう。



- お手伝いは自分から進んでするようにしましょう。
- 市役所の5時の放送を聞いたら家に帰ろう。
- 子ども会には進んで参加しましょう。
- 外出するときは家の人に行先をかならず知らせて出かけよう。
- 人のめいわくになることは決してしないようにしよう。

### ■計画的に勉強しよう

- 休みになると勉強がなかなか手につきませんが、計画をたてて実行しましょう。
- 自由研究や自然かんさつなどもしましょう。
- 良い本をたくさん読む習慣を身につけましょう。

- 心に残ったことは、作文や日記に書いておきましょう。



### ■事故のない生活を

- 道路や危険な場所での遊びはやめましょう。
- あぶない花火や火やく遊びなどはやめましょう。
- 自転車の2人乗りや遠のり、道路での乗りまわしは絶対やめよう。
- 道路のおうだんは、右・左・右とよく見て手をあげてわたりましょう。
- 川や海など禁止された場所での水泳はやめましょう。



- 急に道路へとびだしたり、車のすぐ前やすぐあとは、横断しないようにしましょう。

## 1日の時間割りを作つて……

午前6時	7	8	9	10	11	12時	1	2	3	4	5	6	7	8	午後9時	
起床	ラジオ体操	朝食	手伝い	勉強	プール遊び	昼食	自由時間	ひるね	勉強強く	シロバニ	手伝い	テレビ	夕食	入浴	テレビ	すいみん

# お母さんの体力づくり

農家のお母さんに体力づくりをしていただくこと、〴〵農業者体力づくり教室、を来年2月までに6回開催しますが、第1回目の教室が6月29日市立体育館で行なわれました。この日参加した150人のお母さんたちは、開講式のあと体力測定やなわとび運動をしたり、地域で体力づくり運動を進めるにはどうしたらよいかなどを話し合いました。なお、第2回体力づくり教室は、8月に行ないますが、残りの5回にマッサージの実習やバレーボール、歩け歩け運動、健康体操などを行なつていきます。



## 子どもたちが安心して遊べる 場所をもっと作ってほしい

ひとこと提言

神社の境内を改造して、幾つかの遊具を整え、子どもの遊び場になっている場所を市内で時々見かけます。そのような場所では、いつも子どもたちが大勢楽しく遊んでいます。

ところが私の住んでいる厚原中区には、遊び場らしきものは全然見当りません。そのせいか、近所の子どもは近くの工場の広場へ侵入してボール遊びなどをしています。この広場も昨年回りに金網が張られ〴〵立入禁止、の立札が立てられてしまいました。可愛想に…と思っていた所、このごろでは金網を乗り越えて入つていき前のように遊んでいます。大人と違って機敏な子どもたちには、柵を越えるくらいは平気のようです。

公立に保育園や幼稚園、小中学校がある以上、下校後、子どもたちの過ごす場所も必要ではありませんか。学校からは決まつた時間にベルで追い出され

(小学生)、道を歩けば車の洪水で危険が一杯。家へ帰つてからも昔と違つて、サツシユでピタリと閉じた友だちの家へは、気軽に上る事もままならず、狭いアパートや屋敷内での行動は制限が多くて存分に遊ぶ事も出来ません。

宿題や塾通いに時を過ごし、夕刻からはテレビ、そしてテストの結果だけを一喜一憂して明け暮れるのが、そもそも昨今の常識なのでしょうか。

せめて、伸びのびとキャッチボールくらいは出来る場所を考えてあげるのが、最低限度の大人の努めであろうし、血の通つた行政ではないでしょうか。とても早急には無理でしょうけれど…。

こんな気持で道を歩いているせいか、雑草の繁つている畑が、とても目につきます。民家が建ち揃つてしまわないうちに……早くと痛切に思います。

(厚原中・竹内幸子)



### 通算老令年金を受ける資格は…

**問** 私は現在53才で、ある会社に勤め厚生年金に加入し、あと2年で定年退職になりますが、今までの厚生年金加入期間は16年なので、退職年金は期間が足りずに受けられません。そこで国民年金に加入して、両方の加入期間を通算して、通算老令年金を受けたい

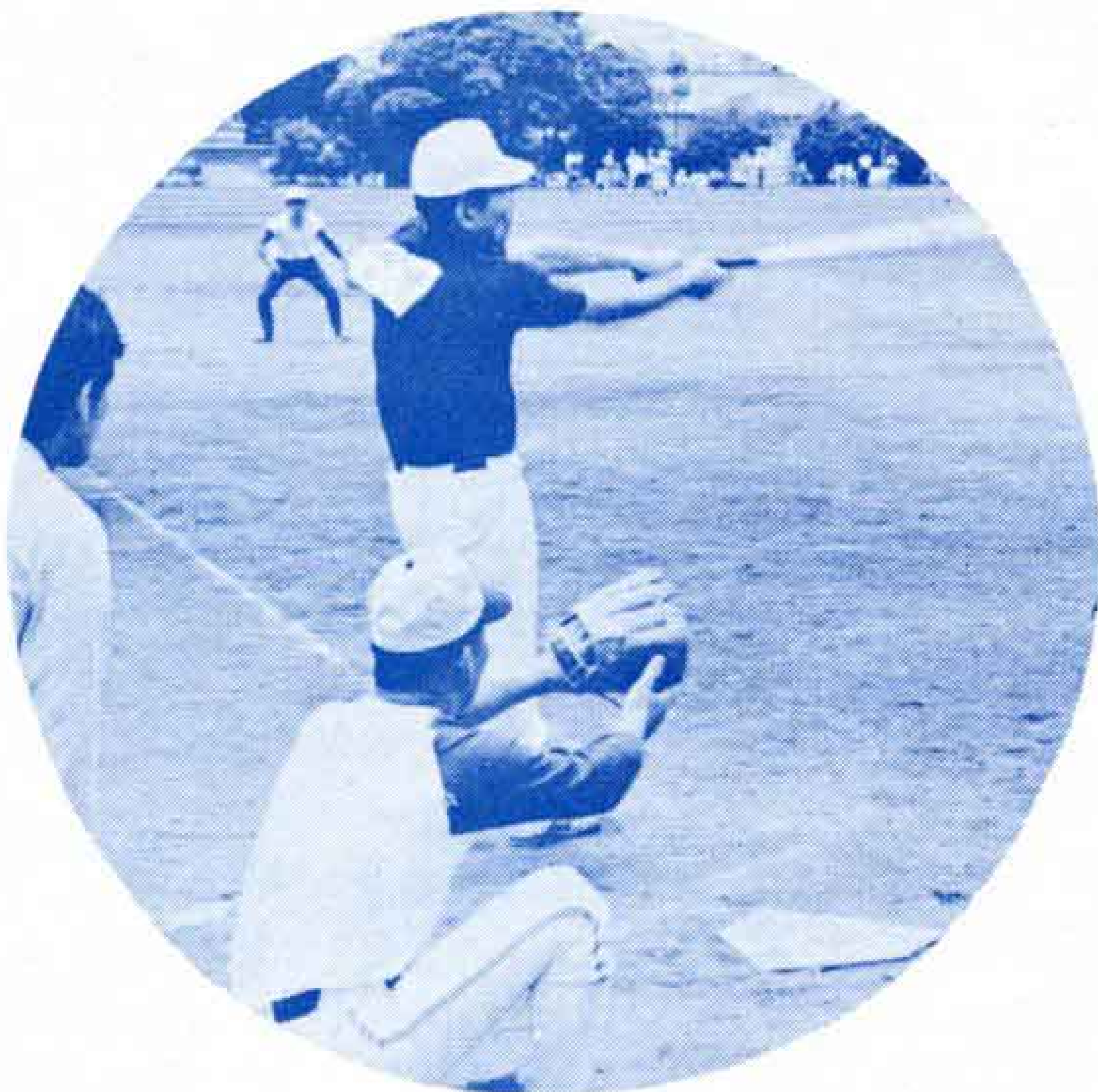
のですが、どんなものでしょう。

**答**

あなたが退職するときには厚生年金の被保険者期間は18年になりますが、厚生年金の退職金を受けるに必要な20年に満たないので、退職した翌日から、当然国民年金の強制加入被保険者になるわけです。したがつて、60才になるまでの間は、保険料を納めていただきます。保険料納付期間は、厚生年金の被保険者期間と通算されるので、通算した期間の合計が25年以

上、または昭和36年4月1日の年令に応じて24年から10年に短縮された期間(大正5年4月1日以前に生まれた人は10年)以上になつたとき、通算老令年金の受給資格期間を満たすこととなります。

この場合、厚生年金の被保険者期間に係る通算老令年金の支給は60才から支給され、国民年金の被保険者期間に係る通算老令年金の支給は65才からになります。



※各地区で熱戦を展開

町内別ソフトボール大会

市民ソフトボール大会も今年で6回目を迎え、町内別対抗に熱戦をくりひろげています。参加チームもこれまで最高の240チーム。7月9日には地区予選を終え、23日と30日の2日間上位37チームの間で今年の優勝を決める中央大会を行ないます。

※青年団の奉仕デー

富士、伝法、浮島など8地区の青年団は、6月18日、公園の清掃、学校への植樹、横断歩道のペンキ塗りなどを行ないました。この日は青年団が決めた奉仕デーで、自分たちの住んでいる地域をよくしようと、8地区に215人の団員が参加して行ないました



※今年もみどりの学校を

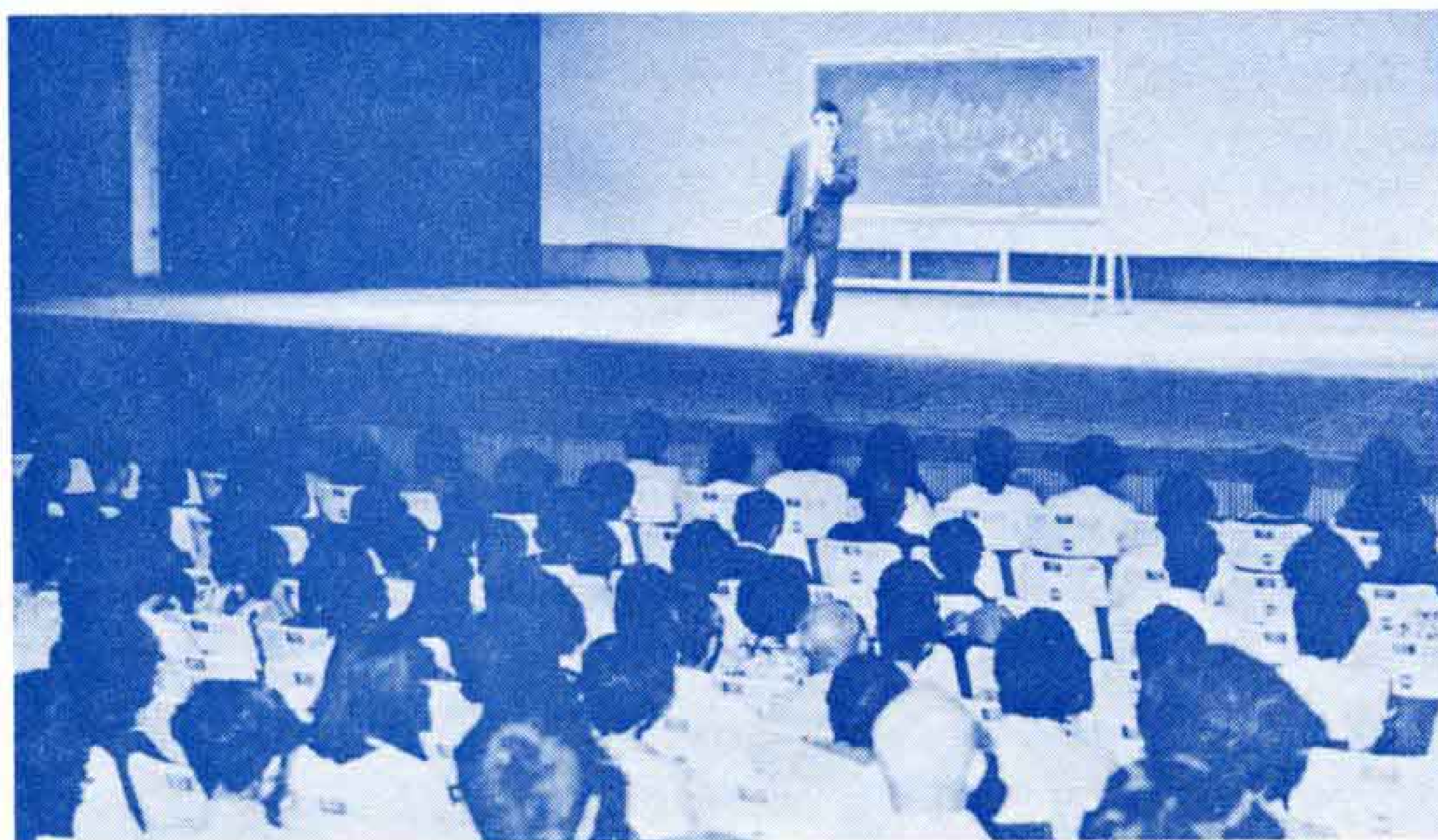
自然の中で健康増進、集団生活をとおして人間形成をはかるため、昨年から移動教室「みどりの学校」を開設しています。今年も全小学校の5年生を対象に6月からはじまり、これまでに須津小、今泉小、原田小、元吉原小校など7が実施しました。みどりの学校は、朝霧野外活動センター、本栖湖青少年スポーツセンター、焼津青少年の家の3カ所のいずれかで行ないますが、各学校とも2泊3日の日程で、一般の授業のほか野外観察やリクレーションなど自然を取り入れた授業を行なっています。

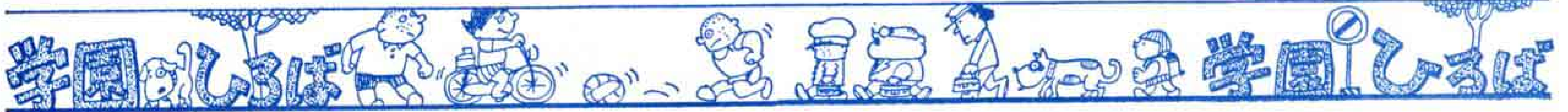


※話し上手に……

盛況の市民教養講座

「明るい人間関係をつくる話し方」話し上手秘訣、「話し合いの努力と心構え」と話し方について、市民教養講座を5月から3回にわたり開催しました。毎回熱心な受講生で会場はいつばいでしたが、最後の講座は6月26日吉原市民会館の大ホールに600人が集まって行なわれました。講座は、言論科学常任理事の福田健氏が、2時間にわたって話し合いの努力と心構えについて講義を行ないました。話し方についての最後の講義とあつて、参加者は一生懸命聞いていました。





学校自慢

富士中学校

団結のつよい生徒会

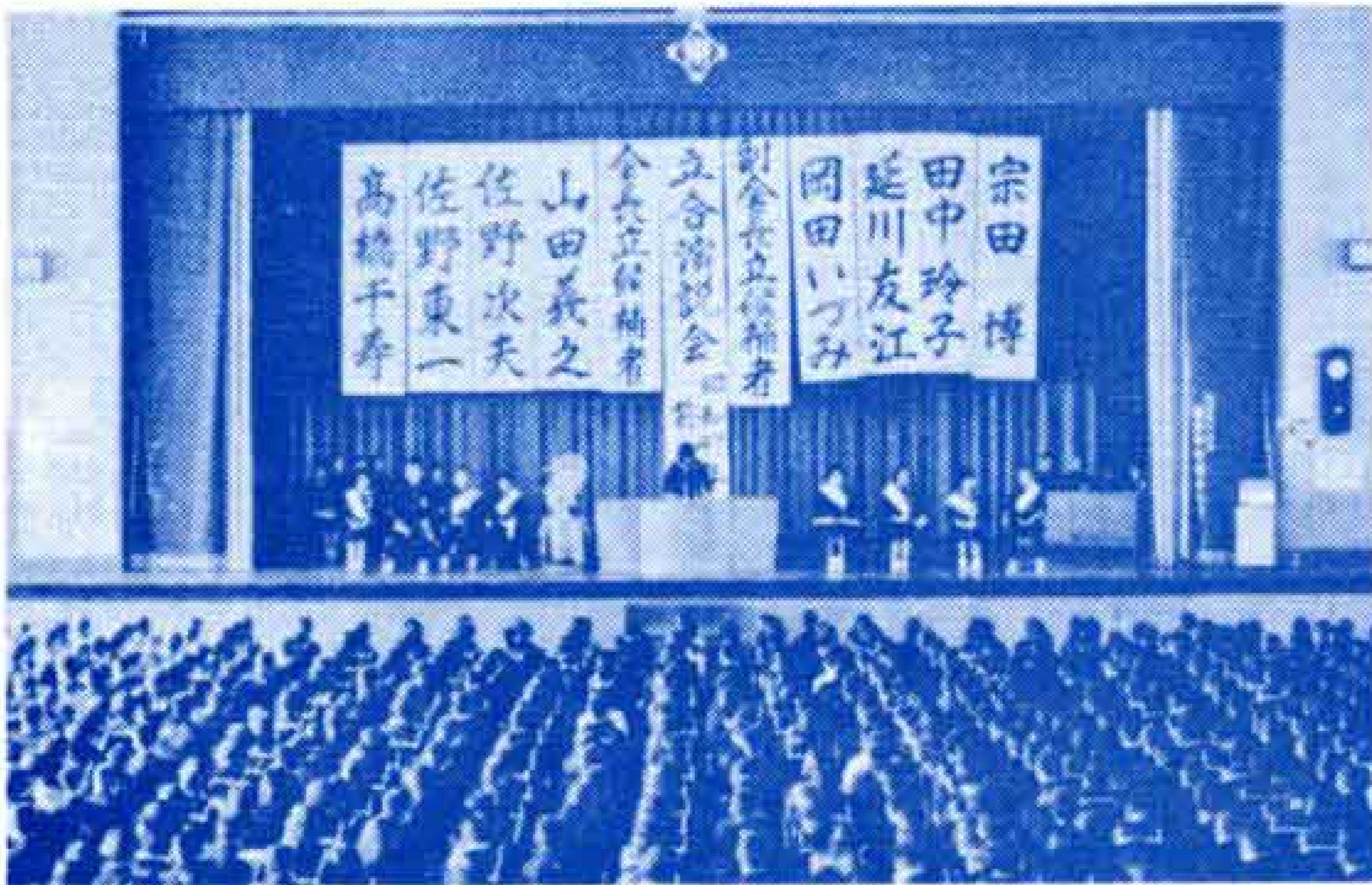
ぼくたち富士中の体育館には、真新しい引き幕が下がっています。生徒会を中心に、生徒全員の手でつけた引き幕です。この引き幕の購入が評議会で決定したのはぼくが2年の時でした。生徒全員すぐ団結して、資金を集めるため、故紙の収集を行なったのです。5回位に分けた収集日には、クラスの前の廊下が生徒のもつてきた故紙で一杯になり、歩くこともできないほどでした。このため起つた運搬の問題も、運動に心を引かれたP

TAが解決してくれました。そして立派な引き幕がつき、去年の11月には、自分たちの手でつけた引き幕の前で、文化祭を開くことができたのです。

この運動を通じて、ぼくたちは、ひとりひとりが力を合わせれば、とても大きな事を達成できることを知りました。

富士中生徒会は、毎年生徒の団結力によつて、自分たちの学校を、自分たちの手で住みよく、勉強に、運動に励める学校にしようと呼びかけます。

ぼくは、実行力と団結力のあるこんな富士中生徒会を本当に自慢したいと思います。



【生徒たちの力で立派にできた引き幕】

1800人が砂と取組む

砂の造形大会

静岡県砂の造形大会が、6月25日県下の16会場で一斉に行なわれました。富士市の会場になつたのは、元吉原海岸で、朝早くから151チーム1800人のよい子が集まりました。

大会ではチームごとに砂と石を使つて、ワニ、カメ、未来の富士市などの作品をつくりました。初めての大会でしたが、いづれの作品もできばえはよく、審査員も賞を決めるのに苦労していました。成績は次のとおりです

- ・児童会館長賞 「豚の親子」大淵第1小学校区八王子本町子ども会
- ・静岡新聞社賞 「レーシングカー」元吉原校区柏原1丁目子ども会
- ・県子連会長賞 「ガリバー旅行記」神戸小学校区今宮子ども会



【「豚の親子」の力作で入賞した八王子本町のこども会】

ぼくらのまち



広見小学校

6年

太田 淳

ぼくらの町広見町は、できてからまだ7年余りだ。富士市の中心より北へ、約3キロの高い丘の上にてきた町で、その名の通り、よく晴れた日には富士市全体ばか

りでなく、駿河湾を通る船や、遠い伊豆半島まで見えるすばらしいながめの町だ

ここには、赤や青の新しい家がずらりと並び、それをとりかこむように市営住宅、県営住宅、また、いろいろな会社の3・4階建ての鉄きんアパートがたくさん建つていて、外国にきたようだ。町の中心にはショッピングセンターがあり、人の集まる所だ。

各町内には公園があり、ぼくたちは思うぞんぶん遊ぶことができる。時には、お父さんたちがキャッチボールをしたりお母さんたちがバレーボールをしていることもある。

1年前には、ぼくたちの広見小学校も完成した。新しい友だちもたくさんできたが、それが全国から集まつているのでびつくりする。特に北海道、九州の人たちが多い。

町には楽しい行事もある。特に夏のほんおどりはにぎやかだ。公園にやたいをくんで、その上で歌つたり、まわりをみんなでおどつたりする。

広見は日本全国から集まつた人たちが住んでいるので、仲よくなるために、このような楽しい行事がたくさんあると思う。これからも、みんなで協力して住みよい広見の町にしていきたい。

